

2008年7月18日

各位

オリックス不動産株式会社

## 『沖縄サンゴ礁再生プロジェクト』を開始 ～『地球にやさしい ECOLOGY SUMMER キャンペーン』も同時実施～

オリックス不動産株式会社(本社:東京都港区、取締役社長:西名 弘明)は、全世界的な白化現象により大幅に減少しているサンゴ礁の回復を目標に『沖縄サンゴ礁再生プロジェクト』を開始することになりましたのでお知らせいたします。

近年、海洋生物の生息を支え、美しい海を守ってきたサンゴ礁の消失が沖縄県においても深刻な問題になっています。このような状況を受け、オリックス不動産では、沖縄県今帰仁村<sup>なきんじむらうんてん</sup>運天漁港前面海域にサンゴを移植してまいります。

まずは「国際サンゴ礁年」である本年7月に400本のサンゴを植え、その後は年間約1,500本を移植していく予定です。

さらに、一般の方にも本プロジェクトにご参加いただけるように、2008年7月11日から8月24日までの期間、『地球にやさしい ECOLOGY SUMMER キャンペーン』を実施いたします。

コーポレートサイト「オリックスの住まい(<http://orix-sumai.jp>)」からオリックス・オリエンテッドクラブに入会后、モデルルームにご来場いただいたお客さま5組毎にサンゴ1本を代行移植してまいります。

これらにより、5年間で合計10,000本の移植を予定しています。

移植後も、沖縄電力グループの株式会社 Aqua Culture Okinawaと連携し、サンゴ礁の成長状況などの確認調査を含め、保全・再生活動を続けてまいります。成長過程は、「オリックスの 住まい」で随時報告してまいります。

本プロジェクトにより、サンゴ礁をはじめ、共生する生物を含めた海洋環境の保護を通じて、地球環境の保全に貢献できるものと考えています。

【本件に関するお問い合わせ先】  
オリックス不動産株式会社 社長室 永井  
:03-3435-3411

## オリックスグループと沖縄県のつながり

### オリックス 沖縄支店

2007年4月、那覇市久米にオリックス株式会社沖縄支店を開設。  
沖縄県内の企業や地域金融機関と連携しビジネス拡充を目指しています。

### コールセンター

2000年2月、オリックス・コールセンター株式会社 那覇事業所を開設。また、2002年には、新産業誘致・雇用促進を目的に宜野座村がオープンした“沖縄北部特別新興対策事業施設”にも宜野座事業所を設け、約500名の雇用を創出。オリックスグループ各社の業務にかかわるコンタクトセンター機能および事務センター機能を担っています。

### オリックス自動車の沖縄県拠点

オリックス自動車株式会社のリース部門では2004年4月に沖縄支店を開設。また、レンタカー部門では、「オリックス・レンタカー」と「ジャパレン」のダブルブランドで運営する沖縄県最大のレンタカー店舗「レンタカーステーション沖縄」をはじめ、「オリックス・レンタカー」ブランドで13拠点、「ジャパレン」ブランドで15拠点の計28拠点を展開しています。

### 宮古島キャンプ

オリックス・バファローズは、1993年より宮古島にて春季キャンプを実施しています。

### ゴルフ場運営事業

オリックス・ゴルフ・マネジメント株式会社は、沖縄カントリークラブおよびオーシャンキャッスルカントリークラブの2コースを運営しています。

### 北谷町ホテル開発事業

オリックス不動産株式会社は、共同事業グループ「北谷ブルーリゾート」の構成企業として、株式会社リーテック、株式会社フォックス・アンド・カンパニーとともに北谷町に「フィッシャリーナ整備事業計画」の中核施設として、約400室のリゾートホテルの建設を予定しております。運営はプリンスホテルに委託予定です。

### 再生ファンドの組成

2005年11月、株式会社琉球銀行、オリックス株式会社、株式会社あおぞら銀行、エイ・アイ・ピー・ジャパン・エルエルシーにて県内中小企業を支援するための再生ファンドを組成しました。

## オリックスグループが取り組む環境事業(一例)

### クリーンエネルギーへの投融資

オリックス株式会社では、秋田県仁賀保町の仁賀保高原風力発電株式会社などの風力発電事業をはじめ、バイオマス発電事業などへの積極的な投融資を通じて、クリーンエネルギーの普及に努めています。

### 省エネルギー事業

オリックス株式会社では、神戸市中央区のイズミヤ株式会社 ポートアイランド店などをはじめ全国へ他店舗展開している食品スーパー・量販店向けに、省エネルギーに関する技術、設備、資金などを包括的に提供し、エネルギーマネジメント業務並びに省エネ保証業務を請け負っています。

### 埼玉県 PFI 事業「大規模リサイクル施設」の運営

2002 年 9 月にリサイクル事業を行う会社として設立されたオリックス資源循環株式会社は、2006 年 6 月、埼玉県寄居町において県との PFI 事業「大規模リサイクル施設」を運営しています。民間施設としては国内最大級の日量 450 トンの処理が可能です。また、受け入れた廃棄物を約 2000 で溶融し、ほぼ全てを再資源化できることが特徴です。

### 重要文書処理システム「ECOBox」事業

オリックス環境株式会社の重要文書処理システム「ECOBox」は、不用となった重要書類を専用ダンボール容器で回収し、処理が完了するまで一切開封せずに溶解処理を行い、100%再資源化します。確実にリサイクルした旨のエビデンスとなる溶解処理証明書を web 上で発行します。

### 取引参加者として排出枠取引への関与

2008 年 2 月、オリックス環境株式会社は、環境省が実施する「自主参加型国内排出量取引制度」において、第 3 期(平成 19 年度)の対象事業者として排出枠の取引を行っています。第 1 期(平成 17 年度)から第 3 期(平成 19 年度)まで 3 期連続で採択を受けました。

### カーシェアリング事業でカーボン・オフセット取組

オリックス自動車株式会社は、2002 年より環境に配慮した新しいクルマの利用手段として 1 台の車を複数人で共同利用する会員制のレンタカーシステム「カーシェアリング事業」を推進してきました。さらなる環境課題への貢献を目指し、2008 年 7 月に、カーシェアリング車両から排出される CO<sub>2</sub> の全てを相殺する自己事業活動型のカーボン・オフセットを導入しております。

～補足資料～

「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト」活動ポスター



オリックス不動産は  
沖縄のサンゴを  
守っていきます。

サンゴ育成に取り組み、次の世代へ美しい海を残したいと考えました。

今、沖縄の海が危機に面しています。約30年前と比較すると沖縄本島周辺のサンゴ礁が約80%も減少していると言われています。この背景には環境変動、地球温暖化、エルニーニョ現象に伴う高水温があり、それがサンゴの白化をまわっています。

オリックス不動産は、沖縄の海に平成20年7月現在で400本のサンゴを植樹しました。

この取り組みは、サンゴ礁周辺に共生している様々な生物を含めた海洋環境全体の保全となり、次の世代へ美しい海を残していくことに繋がると考えています。

 **オリックス不動産株式会社**

## 「国際サンゴ礁年2008」とは

サンゴ礁保全を目的とした国際的な協力の枠組である「国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI)」(日本とパラオ共和国が2005年7月から2007年6月までの任期で議長国を担当)は、2008年を「国際サンゴ礁年」とすることを決定しました。

「国際サンゴ礁年」には、世界各国において、大勢の方にサンゴ礁についての理解を深めてもらうための普及啓発活動や、企業、NGO、行政、研究者、市民などの多様な主体が連携し、サンゴ礁保全活動を展開しています。

## 「国際サンゴ礁年2008」の日本での取り組み

現在、日本国内においては、「国際サンゴ礁年2008」の趣旨に賛同した企業、マスコミ、ダイビング指導団体、水族館、自然保護NPO、自治体、研究者、個人などが集まり推進委員会やワーキンググループを形成しています。それぞれ主体的に関わる参加型会議を重ね、国際サンゴ礁年である2008年に行う活動について、さまざまな企画を話し合い、その準備を進めています。



## 提携プロジェクトパートナー

- ・会社名 株式会社 Aqua Culture Okinawa
- ・住所 〒901-2131 沖縄県浦添市(うらそえし)牧港(まきみなと)五丁目22番6号
- ・代表取締役 平良 栄康(タイラ エイコウ)
- ・従業員 6名(パート含む)
- ・事業内容
  1. サンゴ類、魚介類、海草類等の養殖販売並びにその養殖技術に係る研究
  2. サンゴ類、魚介類、海草類等の飼育設備の製造販売並びにリース業
- ・会社設立日 平成17年6月13日
- ・資本金 1,500万円 (沖縄電力(株) 60% ・平良栄康 35% ・沖電設計(株) 4% ・浦添宜野湾漁業共同組合 1% )



Aqua Culture Okinawa による実際のサンゴ植樹作業写真